

廃棄物の処分コストについて



＜ゼロエミ達成前後における処分単価の比較＞

	ゼロエミ達成前 (2001年)	ゼロエミ達成後 (2003年度末)
平均単価 (円/kg)	46	31

- ①埋め立て処理単価に比べ、廃棄物を分別してリサイクルすることによってコストが下がった。
- ②処理方法の多様化に伴い、廃棄物の性状に適したリサイクル方法の選択が可能となった。

2004年度における廃棄物取引業者数は124社



廃棄物削減の取組み

Innovator in Electronics

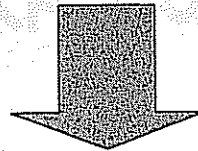


村田製作所

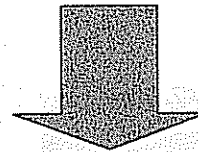
ゼロエミッション達成後の取り組み



リサイクルは完璧な廃棄物対策ではない
廃棄物を再度製品にするためには、石油をはじめとする
たくさんの資源が必要となる
それに伴い排気ガスや汚水が出される



ムラタはゼロエミッションを達成したが、排出量は増加している

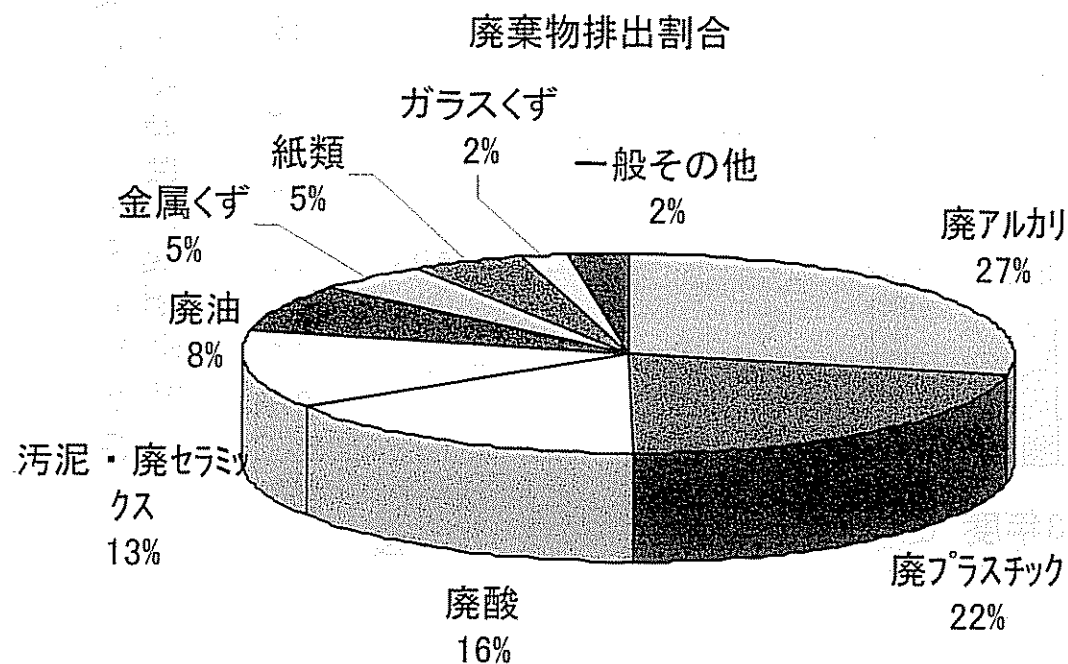


今後は廃棄物の排出抑制（リデュース）について
取り組む必要がある

廃棄物排出量の内訳



＜廃棄物種類別内訳＞

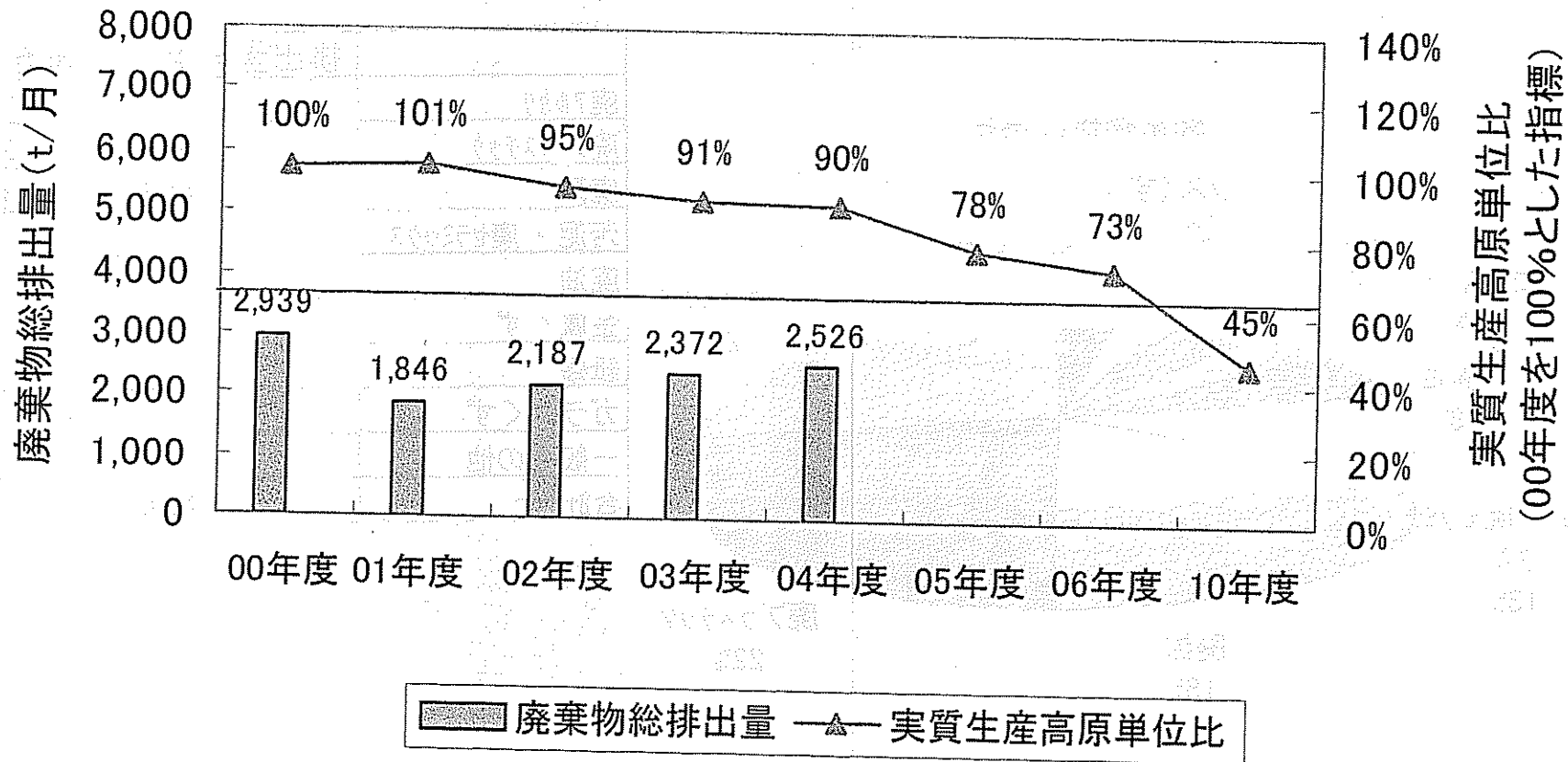


	排出量(t/月)	割合
廃アルカリ	708	28%
廃プラスチック	549	22%
廃酸	401	16%
汚泥・廃セラミックス	322	13%
廃油	190	8%
金属くず	122	5%
紙類	122	5%
ガラスくず	52	2%
一般その他	60	2%
合計	2,526	

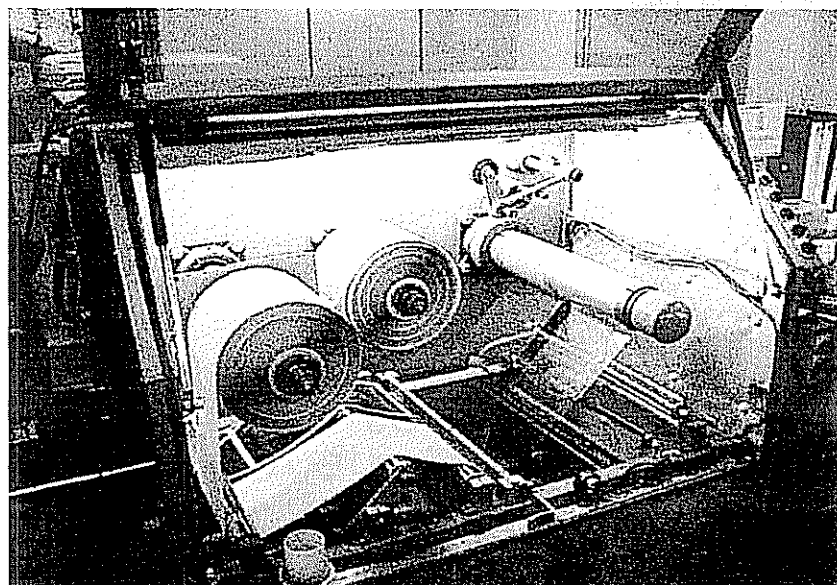
廃棄物削減の推移



オールムラタ廃棄物総排出量



セラミック付きフィルムのリサイクル



剥離設備

剥離後のフィルム



繊維原料にリサイクル

